



食品の提供者と 活用者を繋ぐ フードドライブ



加須市は平成22年3月23日に旧加須市、旧騎西町、旧大利根町、旧北川辺町の1市3町が合併して誕生しました。利根川に育まれた肥沃な土と豊かな水を利用した昔ながらの田園風景が広がるほか、「不動ヶ岡不動尊總願寺」などの有形、無形の文化財が存在しています。



加須市HPへ

食品ロス削減のために

加須市では、市内で活動する子ども食堂やフードパントリーを実施する団体を支援し、食品ロス削減にもつながることから、子育てフードドライブを毎奇数月に実施しています。

実施にあたり、食材が集まるか、業務量も負担となるのではないかなどの心配があったため、まずは市役所職員のみを対象に実施しました。

結果として合計261品が集まり、活動団体の協力もあったため手間もほとんどなく、活動団体からひとり親世帯(約100世帯)に食品を配布することができました。

食品を提供した職員からも「冠婚葬祭の引き出物が有効に活用できてよかった」、「家にあるもので協力できるので、ハードルが低い」などの声がありました。

このため、全庁的な取り組みとすべく、庁内関係課や団体を集めた意見交換会を実施し、市民、民生委員、商工会、職員の協力のもと「加須市子育てフードドライブ」を令和2年7月にスタートしました。

市報で情報を得た市内に事務所を置く生命保険会社からの提供のほか、市内食品製造業者から、定期的に発生する規格外品の提供の申し出をいただくなど、合計791品が集まりました。

その後、製造業者からは、直接団体に対し規格外品が寄贈されることとなったほか、地元の農家の方からは、子ども食堂の活動を知り、ぜひ応援したいと新米の寄贈の申し出があるなど取組の輪が広がりはじめています。

市内ではフードパントリーが奇数月に実施されていることから、フードドライブも奇数月に実施することとし、令和3年1月から本庁舎だけでなく、各総合支所においても実施しています。

さらに、3月からは、市民や企業からの食品の寄贈の定着を図るため、奇数月の第2週に実施することとしました。今後も市報のほか、市ホームページ等により、住民への周知を図って、取組を進めていきます。



加須市からのメッセージ

フードドライブを始めたきっかけは、市内のフードパントリー活動団体の方から、「市民から食品を寄贈いただけるとありがたい」という話がきっかけでした。

最初は、複数の活動団体の方との折衝も不安でしたが、市との窓口となる団体を一本化してもらうことで、円滑に動き出しました。

集まった食品については、団体間で調整をお願いし、それぞれ持ち帰っていただいています。

団体がフードパントリーを実施する月にフードドライブを実施することで、団体の食品保管の問題もクリアされます。

フードドライブは、関係する誰からも喜ばれる取組です。

一回で提供できる食品は少量でも、広報や報道などを通じて知った方から、食品を寄贈したいというお話をいただくなど、良い循環が生まれてきています。

今後も、より多くの方にこの取組を知っていただき、ご参加いただける取組にしていきたいと考えています。